（6枚のうち1）

平成三十年度広島県立特別支援学校
高等部普通科職業コース（一次募集）国語

受検番号
氏名

採点責任者

指示があるまで、中を開かないでください。

今から話をします。同じ話を二回します。話の内容について、後で、いくつかの質問をするので、大事なことを次のメモ欄にメモしてください。

メモ欄

（6枚のうち2）

一　話された内容について（1）から（5）の問いに答えなさい。メモを見てもかまいません。

（1）説明をしたのは誰ですか。次の□に書きなさい。

（2）授業参観が始まる時刻は何時何分ですか。次の□に書きなさい。

（3）授業参観の場所はどこですか。次の□に書きなさい。

（4）学校生活についての説明の時間は、何時から何時何分までですか。次の□に書きなさい。

（5）学校説明会では、質問を受け付けるそうです。あなたなら、どんなことを質問したいですか。次の□に書きなさい。

受検番号

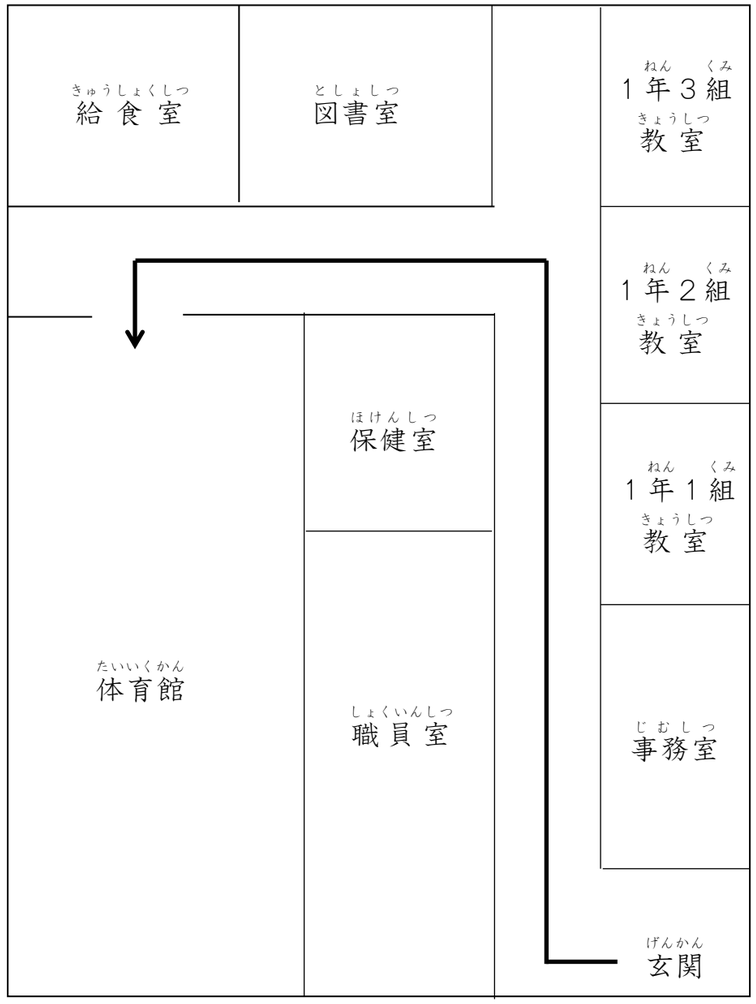
二　次の（1）から（3）の文の傍線部のかなづかいは、間違っています。下の□に、正しいかなづかいで書き直しなさい。

（1）動物園でおうかみを見た。

（2）つくえの上をかたずける。

（3）「こんにちわ」と元気にあいさつをする。

三　あなたは、文化祭の受付係になりました。文化祭は、体育館で行われます。次の校内図を見て、玄関から体育館までの行き方を説明しなさい。



〔校内図〕

〔説明〕

受検番号

四

次の文章を読んで、後の（1）から（3）の問いに答えなさい。

（6枚のうち4）

山中さんは、いつも学校の周りを掃除してくださいます。鈴木さんは、山中さんにお礼の手紙を書くことにし、手紙の書き方を調べました。調べた結果、分かったことは次のとおりです。

（はじめ）

「拝啓」や「啓上」などに続けて、季節に関係する言葉を書いたり、相手の様子をたずねたりする。

書き手のことをよく知らない相手には、自己紹介をする。

（本文）

お礼やお願い、案内など、その手紙で伝えたいことを書く。

（終わり）

別れのあいさつ、相手の健康を気づかう言葉、「敬具」「かしこ」などを書く。

（後づけ）

相手の名前や日付、書き手の名前を書く。

鈴木さんは、この手紙の書き方を参考に、山中さんにお礼の手紙を書きました。

拝啓

寒い日が続きますが、お元気ですか。基町中学校三年一組の鈴木まみです。

A

これからも、お元気でおすごしください。

敬具

①

②

③

受検番号

（6枚のうち5）

（1）鈴木さんは、どうして山中さんにお礼の手紙を書くことにしたのでしょうか。その理由を書きなさい。

〔理由〕

（2）［①］、［②］、［③］にふさわしい言葉の組み合わせを、次の［　　］から選び、下の［　　］に記号で答えなさい。

ア
① 日付
② 自分の名前
③ 相手の名前

イ
① 自分の名前
② 相手の名前
③ 日付

ウ
① 自分の名前
② 日付
③ 相手の名前

〔答え〕

（3）お礼の手紙の本文［A］には、山中さんへのお礼を伝える文が入ります。どのように書けばよいでしょうか。文を考えて、次の［　　］に書きなさい。

受検番号

五

次の文章を読んで、後の（1）と（2）の問いに答えなさい。

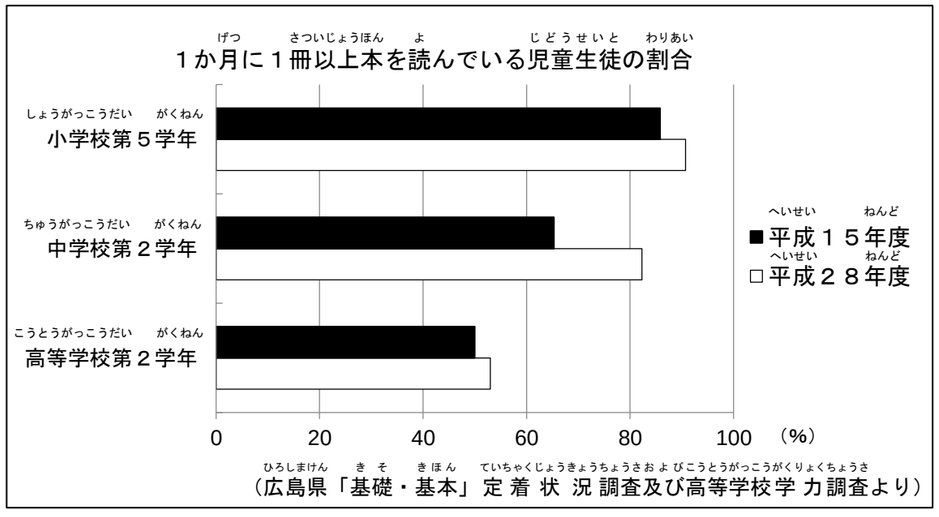
これから、「小学生、中学生、高校生の読書習慣」について発表します。

このグラフを見てください。これは、一か月に一冊以上本を読んでいる児童生徒の割合を示しています。調査対象は、平成十五年度と平成二十八年度の小学校第五学年、中学校第二学年、高等学校第二学年です。

平成十五年度にくらべ、平成二十八年度は、一冊以上本を読んでいる児童生徒の割合がどの学年でも増えています。ある学校の図書室では、本を読む生徒を増やすための工夫をしていると聞きました。

学校の種類で見ると、平成十五年度、平成二十八年度のどちらも、小学校から中学校、高等学校と進学するにつれて一冊以上本を読む人の割合が減っています。ぼくは、中学生、高校生になると部活動があり、本を読む時間が少なくなるからだと考えます。

これで、発表を終わります。



（広島県「基礎・基本」定着状況調査及び高等学校学力調査より）

（1）ある学校の図書室では、本を読む生徒を増やすための工夫をしています。あなたは、どのような工夫をすると、本を読む人が増えると考えますか。次の［　　］に書きなさい。

（2）発表者は、どうして中学校、高等学校と進学するにつれて、本を読む人の割合が減っていると考えていますか。次の［　　］に書きなさい。

受検番号

配付なし

実音聴取用原稿（特別支援学校高等部普通科職業コース　一次募集　国語）

指示があるまで、中を開かないでください。

今から話をします。同じ話を二回します。話の内容について、後で、いくつかの質問をするので、大事なことを次のメモ欄にメモしてください。

これから、学校説明会を始めます。私は、担当の山田と言います。

まず、本日の日程と注意事項を説明します。

十時から、十時二十分（にじっぷん）までは、授業やクラブの紹介など、学校生活についての説明です。

次に、十時三十分（さんじっぷん）から、十一時二十分（にじっぷん）までは、授業参観です。場所は、畑です。外に出るため、靴を持って移動してください。また、授業中は、静かに参観してください。

最後に、十一時三十分（さんじっぷん）から、この会議室で、みなさんからの質問を受けます。そのため、十一時三十分（さんじっぷん）までに、この会議室に戻ってください。

それでは、学校生活について説明を始めます。

二回目です。（繰り返し）

それでは、問題用紙を一枚めくって、一の質問に答える問題から始めてください。

一が終わったら後の問題に解答してください。問題用紙は、全部で六枚あります。

平成30年度広島県立特別支援学校高等部普通科
入学者選抜職業コースに係る
国語出題意図

1　出題の構成

職業コースでは，職業的自立に必要な力を身に付けさせるため，作業工程や留意事項を表した文を正しく読み取って活動すること，作業の完了報告や連絡を口頭や文章によって適切に行うこと等を指導している。また，社会生活を円滑に営み，望ましい人間関係を形成するために，相手や場面に応じて，ふさわしいあいさつや受け答えができることも指導している。

こうした職業コースの指導内容を踏まえ，この学力検査は，話の内容を聞き取る力，基礎的・実用的な言語事項の理解，説明文を読み取る力，自分の考えを説明する力等を問う問題で構成した。

2　各問題のねらい

一　学校説明会での話の内容（担当者名，説明時刻，場所等）を聞き取るとともに，適切な質問事項を考えることができるかを問うものである。

（1）担当者名
（2）授業参観の開始時刻
（3）授業参観の場所
（4）説明時間の開始時刻と終了時刻
（5）質問したいと思う内容

二　日常生活の中でよく使われる仮名遣いを正しく表すことができるかを問うものである。

三　目標物や左右の別等を使って，目的地までの道順を順序よく説明することができるかを問うものである。

四　説明文の内容を正しく読み取るとともに，読み取った事柄を参考に課題解決をし，適切に表現できるかを問うものである。

（1）指示された内容の根拠となる箇所を示すことができる。
（2）手紙の後づけの型を理解している。
（3）相手にお礼の気持ちが伝わるように「本文」に書く内容を考え，文章表現をすることができる。

五　説明文の内容を正しく読み取るとともに，読み取った事柄を参考に，課題解決をし，適切に表現できるかを問うものである。

（1）課題解決の方法を考え，適切に表現することができる。
（2）説明文の内容を読み取り，指示された内容の根拠となる箇所を示すことができる。

平成30年度広島県立特別支援学校高等部普通科入学者選抜（一次募集）職業コースに係る国語採点基準

【注意】誤字は１字につき減点１点とするが，小問の配点以上に減点しない。なお，正答〔例〕又は採点上の注意に例示のない解答について，以下の採点基準を参考に，各校で基準を設けて採点すること。

問題番号		正答【例】	採点上の注意	配点	
一	(1)	【例】 山田さん，やまださん，ヤマダさん	文字種は問わない。 「さん」はなくてもよい。	各６×４	３４
	(2)	10時30分	文字種は問わない。「10：30」は，正答とする。「10」「30」等，数字のみは不可とする。		
	(3)	畑，はたけ，ハタケ	文字種は問わない。		
	(4)	10時から10時20分	文字種は問わない。「～」及び「10～10：20」は，正答とする。「10」「20」等，数字のみの場合及び「から（～）」がない場合は，不可とする。		
	(5)	（例） どんな，勉強がありますか。 どんな，クラブがありますか。	一般的に成り立つ質問であれば正答とする。	１０	
二	(1)	おおかみ		各５×３	１５
	(2)	かたづける			
	(3)	こんにちは			
三	（例） 玄関から右にまっすぐ行き，保健室を過ぎた後，左に曲がる。給食室の前に体育館の入り口がある。（１１） この廊下をまっすぐに歩き，１年２組教室の前の廊下を左に曲がり，少し歩くと体育館の入り口がある。（１１） まっすぐ行って，保健室の横を曲がる。（５） 廊下を歩いて，１年２組の前を曲がる。（５） はじめの曲がり角を左に曲がる。（５）		道順を正しく説明していれば正答とする。	１１	１１
四	(1)	いつも学校の周りを掃除してくださるから。	内容を正しくとらえていれば，表現は異なっていてもよい。 「～から」「～ため」等の理由を述べる際の表現がない場合は２点減点とする。	７	２３
	(2)	ア		６	
	(3)	（例） いつも，学校の周りを掃除してくださり，ありがとうございます。	何に対してお礼を述べているのかが分かれば，文章量の多少は問わず正答とする。	１０	
五	(1)	（例） 話題の本を見えやすい場所に置く。 「人気がある本ベスト10」と示し，人気がある本を同じ棚に置く。	一般的に成り立つ工夫を述べていれば，正答とする。	１０	１７
	(2)	部活動があり，本を読む時間が少なくなるから。	「部活動があるから」でもよい。 「～から」「～ため」等の理由を述べる際の表現がない場合は２点減点とする。	７	
				合計	１００